



長い夏休み、皆様いかがお過ごしでしたか？ 今年の暑さは、危険を感じるほどでしたね。9月末からは、すっかり秋の気配。秋の風を感じながら高い空を見上げ深呼吸してみると、心も膨らむかのようです。この2ヶ月で、ますます大きく成長した子どもたちの姿に驚きながら、保護者の皆様から様々なお話を楽しく聞かせていただいています。

過ごしやすい秋。本を読んだり、散歩したり、子どもたちとどのように楽しみますか？



“ととけっこう”のおはなし会

「本学図書館情報センター×親と子のひろば」企画、“ととけっこう”のおはなし会を開催しました。

保育室で遊んだ後、みんなで図書館までお出掛けです。道路を横断しなければなりません。Mくん(2歳10か月)は、一旦止まって左右を見て「車、来ない?」「うん、大丈夫」「みんな、大丈夫だよ~」そして、無事に道路を横断しました。マリアンホールの建物に入ると、カーペットが敷いてあって静かです。そろり、そろり、静かに歩き始めました。場の空気を感じるのですね。そして階段を上って2階へ。ここまででも、十分に刺激的な冒険です。図書館に着くと、くるくる辺りを見渡し、興味津々です。全員来るのを待っている間も、図書館探検は、続きます。

♪ととけっこう よがあげた~
ととけっこう おきてきな~



第1回

ととけっこうの



おはなし会



プログラム

- 1 ♪わらべうた 『ととけっこう』
- 2 紙芝居 『もしもあめのかわりに』
- 3 ♪わらべうた
『ウチノ ウラノ クロネコガ』
- 4 大型絵本 『だるまさんが』
- 5 ♪わらべうた 『ととけっこう』

わらべうたで“ととけっこう”のおはなし会が始まりました。紙芝居の舞台が開くと、せなけいこさんの絵が現れました。キャリア教養学科の岩井千華先生が「もしもあめのかわりに」を読んでくれました。岩井先生は、図書館における文化活動を通じた市民参画について研究されており、お話会での読み聞かせボランティア12年の経験がある先生です。先生の言葉に続いて、会場のみんで復唱します。言葉のキャッチボールをしながら、言葉のリズムや響きの美しさを感じました。



Mくん(2歳10か月)は、大好きな(憧れの存在!?)のYくんの隣りに座って言葉のリズムに合わせて身体も揺らして楽しそう。Yくん(4歳3か月)は、お話の展開を真剣に聞いて見えています。まだ、おしゃべり出来ない小さな子どもたちの耳にもお母さんの言葉がしっかり届いて、心地よさと共に言葉を自分の内に溜め込んでいます。

次は、齋藤先生が黒猫を連れて歌いながら登場です。2匹の黒猫と一緒にリズムカルに歌います。お母さんに抱っこしたり、猫と一緒に歩いたり、「子どもの意思」が大切にされるおはなし会です。周囲への気兼ねから、注意したり指示したりすることなく、みんなでみんなの子どもの行動や目線を大切に保障してあげます。お母さん方の温かさが子どもの伸びる力を支えます。



さて、続いて登場したのは、いつもの「だるまさんが」です。今日は、みんなが見えるように絵本を大きくしてから奥田が読みます。「大きく、大きく、大きくなあれ！」大きくなっただるまさんと一緒に「だ・る・ま・さ・ん・が・・・」と身体を揺らしながら楽しみました。



おはなし会が終わると、図書館にある絵本を紹介しました。子どもたちは、好きな絵本を次々手にとり、お母さんの元へ。絵本は本来1対1で読んでもらうものです。大好きなお母さんの膝の上で、大好きな声で読んでもらうと声が耳に届き、絵がしっかり見えて、自分のペースで絵本をめくることができます。文字が読める年齢になっても、絵本を読んであげることは大切だと言われています。

Kさんは、長男Mくん(2歳10か月)に心を込めて読んであげていますが、次男Yくん(7か月)の目線もしっかり絵本に向いていますね。



第1回おはなし会の感想を「感想の木」に寄せていただきました。現在、保育室に置いてますので是非ご覧ください。

最後に、司書より図書館案内をさせていただきました。短大内の図書館を親子で是非ご利用ください。

育児で忙しい毎日ですが、大人も本を読む時間を復活させたいですね。



第2回おはなし会は、10月30日（火）10：50～11：10頃を予定しています。いつものように、10：00から広場でたっぷり遊んで、図書館に行きます。是非、ご参加ください。

赤ちゃんの体重と身長、いつでも測定できます



おむつを交換してもらってご機嫌なＹくん（7か月）。自分の意思で方向転換できるようになり、ぐるりと回って顔を見せていました。

「Ｙくん、体重量ってみようか～」とお母さん。早速活用してくれました。なんと、8,500グラム！ 約9kgのＹくんを抱っこしてお世話をしているお母さん。歩けるようになる前のこの時期、抱っこがずっしり重くて大変なんですよ。（私も両手首が腱鞘炎になったことを懐かしく思い出していました）

いつでも測定できますので、ご活用くださいね。



“ママと赤ちゃんのからだの相談日” 月に1回 開催します

出産・育児に伴い、子どもの身体のことや発達のこと、そしてついつい後回しにしてしまいがちな自分の身体のこと、小さな心配事はありませんか？ 本学には、看護師と保健師の資格を持つ福祉こども専攻の山下敦子先生がいらっしゃいます。そして、本学の親と子の広場の考え方に賛同し「是非、何か出来ることを」と、声を掛けてくださった、須川診療所の看護師の塚原早苗さんと栄養士の相澤聡美さんが、話を聞いてくださることになりました。

月1回開催する“ママと赤ちゃんのからだの相談日”には、この専門家（誰が参加するかは来てのお楽しみ）が広場に参加しています。子どもと遊びながら、おしゃべりしながら、気軽に声を掛けて相談してみてください。きっと、心が軽くなって、一歩前進するはずですよ。



“ママと赤ちゃんのからだの相談日”の予定

10月9日（火）

11月9日（金）



見守られている安心感の中で、人とのかかわりの体験が広がる



お母さんがリラックスしてそこに居てくれて、温かな眼差しで見守ってくれていると、子どもたちは安心します。何かあったら、すぐに帰れる「心の基地」があるからです。成長と共に、見えるところに親が居なくても「心の基地」があることを心で確信できるようになり、それが挫折や葛藤を乗り越えるときに大きな力になってくれます。

Sちゃん(1歳7か月)は、一人で様々な形のおもちゃを手にとり、確かめながら学んでいます。お母さんがソファに座ってみていてくれることを背中に感じて安心しています。そして、絵本をお



母さんのところに持っていくと「絵本読もうね」とお母さんが優しく応じてくれていました。お兄ちゃんのYくん(4歳3か月)は「Yくん、パズルする!」と、お母さんの足元で始めました。二人のお母さんは、子どもが求めているときにたっぷり丁寧に応じ、子どもが自分でしようとしているときは、じっくりと取り組ませてあげる方です。



お誕生日おめでとう！ ママになった日おめでとう！

8月に2歳のお誕生日を迎えたYちゃんと9月に2歳のお誕生日を迎えたTちゃんのお祝いをしました。コンコンさんが、みんなからのメッセージと親子の写真を貼ったカードを届けてくれました。子どものお誕生日は、お母さんにとっても特別な日。お二人には、出産・育児のエピソードを聞かせていただきました。無事に生まれてきてくれて、ここまで大きくなってくれたこと・・・本当におめでとう。

そして、あなたの未来と一緒に夢見させてくれて、ありがとう。

親も子も、良い人生を！





すてきな家族の後姿をパチリ！ いただきました～

双子ちゃんの大変な育児を、力を合わせて、工夫して、頑張っているご家族。子どもの「外を見たい」という気持ちをくみ取って、窓辺に乗せてあげ、後ろから見守るいつもの良いご夫婦。このご夫婦の姿が子どもを育てるのでしょね。

子は、親の鏡です。だから、H兄ちゃんもH弟ちゃんもとてもステキな子に育っています。

秋のクッキング “新米を味わおう & 手作り味噌を味わおう”

新米の季節ですね～。この時期、新米のおいしさを味わうには、炊き立てご飯に味噌をちょっと付けていただくのが最高です。「なかなか白いご飯を食べてくれません・・・」と悩んでいる方、是非、子どもにこのおいしさを味わわせてあげましょう。みんなで一緒に食べると、おいしさ倍増です。

そして、6月にみんなで仕込んだ手作り味噌。出来上がっていますよ～。米麴がいい仕事してくれています。味噌おにぎり！ そして、いつもの味噌汁！ を味わいましょう。

秋のクッキングは、10月26日（金）です。

文責 奥田美由紀

今後の予定

- 9月28日（金）おはなし会
- 10月2日（火）
- 5日（金）
- 9日（火）ママと赤ちゃんのからだの相談日
- 12日（金）野外保育 ※申込み必要
- 16日（火）休み
- 19日（金）休み
- 23日（火）
- 26日（金）クッキング
- 30日（火）おはなし会
- 11月2日（金）休み
- 6日（火）
- 9日（金）ママと赤ちゃんのからだの相談日
- 13日（火）クッキング
- 16日（金）休み
- 20日（火）クッキング
- 23日（金）休み
- 27日（火）
- 30日（金）おはなし会（図書館のみ）



桜の聖母短期大学

🏠 福島市花園町 3-6

☎ 024-534-7137

（代表）

